

2026-27年度のための

ロータリー財団 財団セミナー

地区補助金について

地区財団補助金委員会

委員長 **天内 和幸**

Rotary
RID2510



TODAY'S TOPICS

本日のアジェンダ

01

年間スケジュール

申請から支給、報告までの全体的な流れ

02

申請方法

必要書類、記載方法、申請時の注意点

03

補助金活用の注意点

承認後の変更ルールや重要なポイント

Rotary

RID2510





REFERENCE DATA
22-23年度 年次寄付金額

\$317,637.45



TARGET AMOUNT

26-27年度 地区補助金 (25%)

\$79,409.36

合計申請数

47 件



41 RC

1 RAC

5 委員会

承認額合計

\$81,867



管理運営費・臨時費を含む

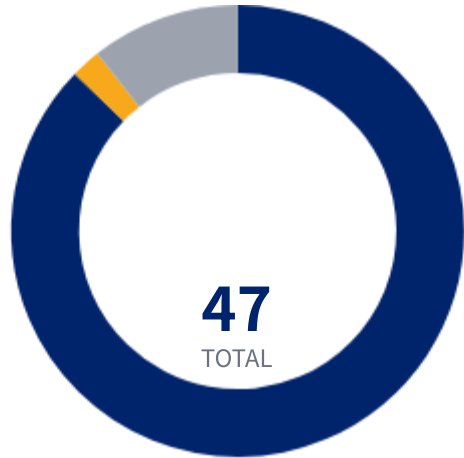
基準：年次寄付額

\$327,468



22-23年度実績 (3年前)

申請数の内訳



● ロータリークラブ (RC) ● ローターアクト (RAC)
● 地区委員会

予算利用率・承認実績



0% 70% 90% 100%

APPROVED AMOUNT

\$81,867

BUDGET LIMIT

\$81,867

① 審査時の状況

内容の修正が必要なクラブが複数ありましたが、最終的に予算上限まで承認されました。

地区補助金の参加資格と変更ルール



参加資格の基本

- ✓ 1. ロータリー財団の使命に関連していること
- ✓ 2. ロータリアンが積極的に参加すること
- ✓ 3. 実施に先立ってロータリー財団により審査され、承認されていること
- ✓ 4. 地区財団管理セミナーに出席していること
- ✓ 5. 「覚書（MOU）」に挙げられた諸要件に従うことに同意し、提出すること

申請後の変更

プロジェクト内容は、**承認前であれば変更可能**です。状況の変化に応じて計画を柔軟に見直すことができますが、大幅な変更の場合は委員会へ速やかにご連絡ください。

⚠️ 最も重要な注意点

承認後の計画変更ルール



無断変更の禁止

承認された内容と異なる活動をした場合、補助金が支給されない可能性があります。



事前承認が必須

計画に変更を加える場合は、**必ず実施前に**ロータリー財団（地区委員会）の承認を得てください。

変更が必要になる例：

実施時期の延期

予算配分の変更

購入物品の変更

判断に迷ったら...

委員会へ相談 →

クラブへの配分基準



基本ルール

- 原則** 1クラブ 1プロジェクト
 複数の申請はできません
- 上限** 最高額 50万円
 日本円換算での上限設定
- 基準** 3年前の年次寄付金の25%
 これを「基準額」とします

特例措置

会員数19名以下のクラブ
 ※3年前の期末(6/30)時点

基準額 \$500

ローターアクトクラブ (RAC)

上限 \$300

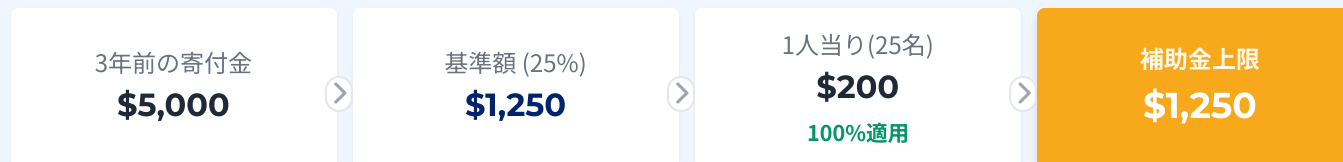
上限額のスライド制

寄付実績によるインセンティブ

1人当たりの年次寄付額に応じて、基準額に対する掛け率が変わります。

1人当たり年次寄付額	掛け率
\$150 以上	基準額 × 100%
\$100 以上 ~ \$150 未満	基準額 × 90%
\$100 未満	基準額 × 80%

上限額の計算例



事業予算と上限額が大きく乖離しないよう、事前に委員会までご確認ください。

地区補助金の年間スケジュール



● 地区のアクション ● 財団のアクション ● クラブのアクション (期限)

ⓘ スケジュールは為替や承認状況により前後する場合があります。

補助金活用の注意点



次年度申請期限

2025年4月30日

期限厳守



変更時の連絡

必ず**実施前**にご連絡ください

- ▶ プロジェクト内容の変更
- ▶ 申請金額（予算配分）の変更

i 事後報告では承認不可の場合あり



申請書・報告書の提出先

財団補助金委員会専用メールアドレス

hojokin2510@gmail.com

- ✓ 原則メールでの提出をお願いします
- ✓ 申請書・MOU・見積書等をセットで送信

🔔 受付通知について

申請書到着後、委員会より受付メールを送信します。
送信後1週間以上経過しても返信がない場合は、当委員会までご連絡ください。



報告書の提出

様式：地区ホームページに掲載

締切：**6月30日**（昨年度遅延あり）

⚠️ 重要

全クラブの報告完了まで新規審査が開始されません。

不明点は委員会へ

早めの相談がスムーズな承認へ繋がります



01 フォーマットの入手

地区ホームページから最新の申請書フォーマット (Word/Excel) をダウンロードしてください。



スマートフォンからアクセス
各種書類ダウンロードページ

rid2510.org/2526/category/foundation-grant...

Rotary District 2510 国際ロータリー第2510地区(北海道西部) Rotary International District 2510

HOME お問い合わせ

国際ロータリー 第2510地区 ロータリークラブ スケジュール 地区委員会情報

2026-27年度地区補助金申請関係書類について

2026-27年度の地区補助金申請に関する各種書類を掲載いたしました。
申請を検討されているクラブにおかれましては、以下のリンクより書類をダウンロードし、記入例を参考のうえ期限までにお手続きをお願い申し上げます。

RID2510地区補助金報告書26-27
RID2510地区補助金申請書
RID2510地区補助金申請書_記入例
MOU for 2025-26

02 書類の作成と準備

申請書への記入、MOUへの署名、見積書の取得を行ってください。



03 メールで提出

作成した書類一式 (PDF等) を添付して送信してください。



SUBMISSION ADDRESS

hojokin2510@gmail.com



申請前に必ず確認してください。以下の4点が全て揃っているかチェックしましょう。



地区補助金申請書

District Grant Application Form



✓ 必要事項が全て記入されていること



MOU（覚書）

Memorandum of Understanding



✎ 会長・会長エレクトの署名必須



見積書のコピー

Copy of Quotation



📎 予算計上の根拠となるもの（該当項目分）



通帳のコピー

Copy of Bank Passbook



💰 銀行口座情報の確認用（表紙・1ページ目）

📌 これらをPDFファイル等にまとめて提出してください



申請クラブ情報

記入例

クラブ名 *

〇〇ロータリークラブ

担当者名 / 役職 *

窓口となる方のお名前

(役職)

連絡先 * **最重要**

📞 連絡の取れる電話番号

✉ メール：連絡の取れるアドレス



連絡の取れる担当者を

申請後、委員会から問い合わせを行う場合があります。「誰が窓口なのか」を明確にし、連絡先を記載してください。



メールアドレスは特に重要！

原則、連絡は
メールで行います

- ✓ 記載漏れがないか必ず確認してください
- ✓ 添付ファイルが受信可能なアドレスを推奨
- ✓ ここの記載が不正確だと承認が遅れる原因になります

➡ ここが不明確だと、審査開始が遅れる可能性があります。
確実な記入をお願いします。



☰ プロジェクト情報

記入例

プロジェクト名 *

プロジェクトの概要を示した名称（例：〇〇小学校での読み聞かせ活動）

プロジェクト概要 *

- ・プロジェクトの目的や意義
- ・具体的な実施内容（誰が、いつ、どこで、何を）
- ・実施場所（施設名や住所など具体的に）
- ・クラブの関わり方（何を提供し、どう動くか）

※ 審査員が内容を具体的にイメージできるように記載してください。

実施期間 *

2026年〇月〇日～

受益者 *

地域の子どもたち 等



曖昧な記述は承認されません

ここの記載が中途半端なほど、申請が承認されづらくなります。

「いつ」「どこで」「誰が」「何を」を具体的に明記してください。

✍ 記述のポイント



具体性を持たせる

誰が読んでも理解できるように、プロジェクトの具体的な内容を詳細に記載してください。



クラブの関わりを明確に

クラブがどのように関わるか、会員の実働が見えるように記述することが重要です。



プロジェクトの予算

見積書のコピー添付要

支出項目	通貨	金額
〇〇会場費	円	50,000
〇〇機材購入費	円	120,000
講師謝金	円	30,000
(空欄)		
合計	円	200,000
希望申請額	円	200,000

支出項目は具体的に記入し、それぞれの項目に対応する見積書を用意してください。

⚠ 見積書の添付は必須**「何もない」は認められません**

申請書の予算欄に記入した項目については、根拠となる見積書のコピーを必ず添付してください。

× 見積なし = 審査対象外

❓ お困りの場合は...

見積もりが取りづらい場合
インターネット等の価格参考資料でも可能な場合があります。当委員会までご相談ください。

申請上限額の確認
クラブごとの上限額を知りたい場合は、お気軽にお問い合わせください。

[委員会へ連絡する](#)

申請における不備・指摘事項の例



書類が不足している

× MOU（覚書）がない

× 通帳コピーがない

× 見積書がない

申請書の記載内容の不足

i プロジェクト概要の不備

記載されている内容が具体的でなく、
審査を行うのに情報が不十分である。

⊘ 資金用途の不適合

判断基準

ロータリー財団の
「**地区補助金 授与と受諾の条件**」により定義

! 比較的多い不適合事例

ロータリー活動の周知 ×

クラブのPR ×

⊘ これらは対象外です

申請額と支給額について

Fluctuation
為替と上限による変動



ⓘ 支給額は変動します

申請時の希望額がそのまま支給されるとは限りません。「クラブの上限額」と「為替レート」の2つの要因により、最終的な受取額（円）が増減します。

要因1
≡ クラブ
上限

要因2
↻ 為替レ
ート



注意：自己資金が必要になる場合があります

上記の例のように、申請時の予算（¥100,000）に対して、実際の支給額（¥77,000）が下回ることがあります。不足分（¥23,000）はクラブの自己資金等で補填していただく必要がありますので、資金計画には余裕を持ってください。

CASE STUDIES

補助金 活用事例

これまでの採択事例から学ぶ、
効果的なプロジェクトのヒント



EDUCATION



SUPPORT



ENVIRON



ROTARY CLUB

留萌RC



実技講習会の様子



PROJECT TYPE

教育・青少年



TARGET

留萌市内の小学生

PROJECT

プロトレーナーによる「正しい走り方」実技講習会



OBJECTIVE

青少年の心身の健全な育成

子供たちにスポーツの基礎である「走る」ことの楽しさと重要性を伝え、健全な心と体を育む機会を提供する。



ACTION

プロからの直接指導を提供

プロのトレーナーを招聘し、実技講習会を実施。普段の授業では教わらない専門的な「正しいフォーム」や「速く走るコツ」を直接指導。



OUTCOME

走る楽しさの実感と自信

「速くなった」「走りやすくなった」という成功体験を通じて、運動への苦手意識を克服し、体を動かす楽しさを実感してもらった。

ROTARY CLUB

室蘭RC



クルーズ船体験



学習発表会

PROJECT TYPE
教育・環境保全TARGET
室蘭市内の小学生

SDGs ACTIVITY

室蘭港クルーズ船での「海洋ゴミ」収集体験・発表会



OBJECTIVE

SDGsを学ぶ機会の提供

子供たちに身近な海の環境問題を通してSDGs（持続可能な開発目標）について考え、学ぶ実践的な機会を創出する。



ACTION

クルーズ船でのゴミ収集と発表

室蘭港をクルーズ船で巡り、実際に海洋ゴミを収集する体験会を実施。さらに、体験を通じて感じたことをまとめる発表会も開催。



OUTCOME

思考力の育成と発信

日常とは違う体験を言語化し発信することで子供たちの思考力を育て、地域社会への環境意識啓発にもつながる成果を得た。

ROTARY CLUB

室蘭東RC

室蘭東RC

室工大有志の
団体に10万円

竹本会長（右）から寄付金を受け取る（左から）高瀬さん、蛸名さん

泊費の一部に充てられる。

増川弁護士が代表を務める北海道みらい法律事務所（東町）に、部長とプロジェクトの蛸名啓太さん（法学科3年）、高瀬さん（同4年）が訪ね、竹本会長は2人に付けて行つてきて、い一と善意を手渡す。

寄付金贈呈式の様子



PROJECT TYPE

災害支援



TARGET

能登半島地震 被災地

PROJECT

学生ボランティアによる能登半島地震復興支援



OBJECTIVE

学生の「助きたい」を現地へ届ける

2024年元旦に発生した能登半島地震に対し、室蘭工業大学の学生ボランティアが抱く「現地で復興の力になりたい」という熱意を支援活動として具現化する。



ACTION

現地調整と活動資金の全面サポート

現地で真に必要とされる支援を把握した上で、受け入れ先との関係をコーディネート。さらに交通費や現地活動費を拠出し、学生が活動に専念できる環境を整えた。



OUTCOME

ニーズに即した復興支援の実現

学生ボランティアの被災地救援活動を多角的にサポートすることで、現地の混乱を招くことなく、ニーズに即した実効性の高い復興支援活動を実現した。



補助金事業の企画に向けて



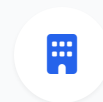
地域と共に創る 新しい奉仕のカタチ

クラブ単独でイチから企画するだけではありません。
地域の既存団体や学校、施設と**共同でプロジェクトを作り上げる**ことで、より広く、より深く地域に貢献できる機会を創出できます。

+ 共同企画のメリット

- ✓ 地域の真のニーズを的確に把握できる
- ✓ 専門知識や人的リソースを補完し合える
- ✓ ロータリーの公共イメージ向上につながる

連携パートナーの例



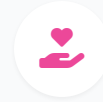
自治体・行政

地域課題の共有、公園整備、防災活動など



学校・教育機関

出前授業、キャリア教育、インターアクト支援



NPO・ボランティア団体

子ども食堂、環境保護、障がい者支援



医療・福祉施設

高齢者支援、健康イベント、備品寄贈

+ 地域の商工会議所、青年会議所、企業など

SUMMARY

まとめ

配分ルール／期限順守／実働重視の設計で、
質の高い申請と確実な実行へ



RULES



DEADLINE



ACTION



ご清聴ありがとうございました

地区補助金の活用に関するご相談やクラブでの卓話の依頼など、
当委員会までお気軽にご相談ください。

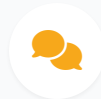
COMMITTEE CONTACT

地区財団補助金委員会

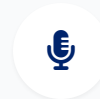
✉ 専用メールアドレス

hojokin2510@gmail.com

✔ 申請書・報告書の提出先（原則メール）



活用のご相談
企画段階からのサポート



卓話の依頼
クラブ例会での説明など